

如来(ニョライ)仏のこと。真如(115 ページ参照)より来るの意。

刃傷(ニンジョウ)刃物<sup>はもの</sup>で人を傷つけること。

忍辱(ニンニク)恥を耐え忍んで、心を動かさないこと。

捏造(ネツゾウ)捏<sup>ネツ</sup>は土をこねること。粘土で器具を造るの意から、根も葉もないことをでっち上げることを言う。

涅槃(ネハン)梵語<sup>ボン</sup>。いっさいの煩惱<sup>ボンノウ</sup>から解脱<sup>ゲダツ</sup>した不生不滅の高い境地。

粘液(ネンエキ)粘<sup>け</sup>り気のある液。

年貢(ネング)年々の貢物<sup>みつぎもの</sup>の意で、租税や小作料を言う。

捻出(ネンシュツ)ひねり出すの意で、出さうにもないところからなんとかして出すことを言う。

把握(ハアク)把も握も、にぎる、つかむの意。理解することの意に用いる。

胚芽(ハイガ)胚は胎内の子。植物の種の中で将来成長して芽となる部分。

陪審(バイシン)審議に陪席<sup>い</sup>するの意で、裁判に民間人の関与する制度。

排斥(ハイセキ)おしのけ(排)しりぞける(斥)こと。

排泄(ハイセツ)泄<sup>せ</sup>はもらすこと。動物が不要になったものを体外に出すこと。

俳壇(ハイダン)俳句を作る人々の社会。

莫逆(バクギャク)逆<sup>さか</sup>らうことなしの意で、意

気役合する親しい間がらを言う。

白眉(ハクビ)蜀<sup>シヨク</sup>の馬良の兄弟五人ともに才名があったが、眉<sup>まゆ</sup>に白い毛のあった馬良が特にすぐれていたという故事から、特にすぐれている人(または物)を言う。

暴露(バクロ)暴は日にさらすが本義。露にさらされるの意で、雨風にさらされること。また、暴も露も、あらかず、あらかれるの意で、秘密や悪事をあばくこと、またあらかれる(露見)こと。

駁論(バクロン)駁<sup>さか</sup>は毛色のまだらに入りまじった馬。議論が入りまじるの意で、他人の意見を非難攻撃することを言う。